

鵠沼雜記

芥川龍之介

青空文庫

僕は鵜沼くげぬまの東屋あづまやの二階にちつと仰向けあふむに寝ころんでゐた。その又僕の枕もとには妻つまと伯母をばとが差向ひに庭の向うの海を見てゐた。僕は目をつぶつたまま、「今に雨がふるぞ」と言つた。妻や伯母をばはとり合はなかつた。殊に妻は「このお天氣に」と言つた。しかし二分とたたないうちに珍らしい大雨たいうになつてしまつた。

×

僕は全然人かげのない松の中の路みちを散歩してゐた。僕の前には白犬が一匹、尻を振り振り歩いて行つた。僕はその犬の辜丸かうぐわんを見、薄赤い色に冷たさを感じた。犬はその路の曲り角かどへ来ると、急に僕をふり返つた。それから確かににやりと笑つた。

×

僕は路ばたの砂の中に雨あま蛙がへるが一匹もがいてゐるのを見つけた。その時あいつは自動

車が来たら、どうするつもりだらうと考へた。しかしそこは自動車などのはひる筈のない
 小みちだつた。しかし僕は不安になり、路ばたに茂つた草の中へ杖の先で雨蛙をはね飛ば
 した。

×

僕は風向かざむきに從つて一様いちやうに曲つた松の中に白い洋館のあるのを見つけた。すると洋館
 も歪ゆがんでゐた。僕は僕の目のせるだと思つた。しかし何度見直しても、やはり洋館は歪ゆが
 でゐた。これは不氣味ぶきみでならなかつた。

×

僕は風呂ふろへはひりに行つた。彼是かれこれ午後の十一時だつた。風呂場の流しには青年ひとが一人、
 手拭てぬぐひを使はずに顔を洗つてゐた。それは毛を抜いた雞にはとりのやうに痩せ衰へた青年だつた。
 僕は急に不快になり、僕の部屋へ引返した。すると僕の部屋の中に腹巻が一つぬいであつ

た。僕は驚いて帯をといて見たら、やはり僕の腹巻だった。（以上東屋あづまやにゐるうち）

×

僕は夢を見てゐるうちはふだんの通りの僕である。ゆうべ（七月十九日）は佐佐木茂索ささきもさく君と馬車に乗つて歩きながら、麦藁帽むぎわらぼうをかぶつた馭者ぎよしやに北京ペキンの物価などを尋ねてゐた。しかしはつきり目がさめてから二十分ばかりたつうちにいつか憂鬱ゆううつになつてしまふ。唯灰色グレイの天幕テントの裂け目から明るい風景が見えるやうに時々ふだんの心もちになる。どうも僕は頭からじりじり参つて来るのらしい。

×

僕はやはり散歩してゐるうちに白い水着を着た子供に遇あつた。子供は小さい竹の皮を兎のやうに耳につけてゐた。僕は五六間離れてゐるうちから、その鋭い竹の皮の先が妙に恐しくてならなかつた。その恐怖は子供とすれ違つた後のちも、暫しばらくの間あひだはつづいてゐた。

×

僕はぼんやり煙草を吸ひながら、不快なことばかり考へてゐた。僕の前の次の間にはこ
 こへ来て雇つた女中が一人、こちらへは背中を見せたまま、おむつを畳んでゐるらしかつ
 た。僕はふと「そのおむつには毛虫がたかつてゐるぞ」と言つた。どうしてそんなことを
 言つたかは僕自身にもわからなかつた。すると女中は頓狂な調子で「あら、ほんたう
 にたかつてゐる」と言つた。

×

僕はバタの罐をあけながら、軽井沢の夏を思ひ出した。その拍子に頸すぢがちくり
 とした。僕は驚いてふり返つた。すると軽井沢に沢山ある馬蠅が一匹飛んで行つた。
 それもこのあたりの馬蠅ではない。丁度軽井沢の馬蠅のやうに緑色の目をした馬蠅だつ
 た。

×

僕はこの頃空の曇つた、風の強い日ほど恐いものはない。あたりの風景は敵意を持つてぢりぢり僕に迫るやうな気がする。その癖前に恐しかった犬や神鳴かみなりは何ともない。僕はをととひ（七月十八日）も二三匹の犬が吠ほえ立てる中を歩いて行つた。しかし松風があまり出すと、昼でも頭から蒲団ふとんをかぶるか、妻のゐる次の間まへ避難してしまふ。

×

僕はひとり散歩してゐるうちに齒医者ふだの札を出した家を見つけた。が、二三日たつた後のち、妻とそこを通つて見ると、そんな家は見えなかつた。僕は「確かにあつた」と言ひ、妻は「確かになかつた」と言つた。それから妻の母に尋ねて見た。するとやはり「ありません」と言つた。しかし僕はどうしても、確かにあつたと思つてゐる。その札は齒と本字を書き、イシヤと片仮名かたかなを書いてあつたから、珍らしいだけでも見違へではない。（以上家を借り

て
か
ら
(

(二五・七・二〇)
〔遺稿〕

青空文庫情報

底本：「芥川龍之介全集第四巻」筑摩書房

1971（昭和46）年6月5日初版第1刷発行

1971（昭和46）年10月5日初版第5刷発行

入力校正：j.utiya

1999年2月15日公開

2003年10月20日修正

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫（<http://www.aozora.gr.jp/>）で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

鵠沼雑記

芥川龍之介

2020年 7月17日 初版

奥 付

発行 青空文庫

URL <http://www.aozora.gr.jp/>

E-Mail info@aozora.gr.jp

作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU

URL <http://aozora.xisang.top/>

BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー <http://aohelp.club/>
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
<http://tokimi.sylphid.jp/>